



子ども向け



ナゴヤドーム



地域連携

## #できなかったことをやろうプロジェクト

コロナで試合が減り残念な思いをしている野球少年へ  
ナゴヤドームでの試合をプレゼント

新型コロナウイルスで生活の変化を余儀なくされている中、落ち込んでいる人を少しでも元気づけられたらと、中日新聞では「#できなかったことをやろうプロジェクト」を展開しています。

読者からやりたいことを募集したところ、少年野球チームから「数々の試合が中止になってしまった。最終学年の小学校6年生が力を発揮する場所を作ってあげたい」という投稿が。一方、毎年開催していた中日少年野球大会ポッカサッポロ杯が中止になり、残念な思いを持っていたポッカサッポロがこの投稿に共感し、ナゴヤドームでの試合が実現しました。

少年たちは、憧れのドラゴンズ選手たちが戦っている場所で試合ができることに大興奮！熱の入ったプレーばかりで熱戦が繰り広げられました。また、両チームには記念品として、盾と「キレートレモンCウォーター」20ケースが贈られました。

コロナ一色となったこの一年、ナゴヤドームで試合ができたことで、子どもたちに良い思い出を作ることが出来ました。まだまだコロナと付き合いながらの生活ですが、今後も企業様と一緒に読者や地域を元気づけていきたいです。

名古屋本社 広告一部

## ■感染防止に細心の注意を払い、ナゴヤドームにて学童野球の対戦試合を実施しました。

※2020年9月26日実施



六田ファイターズvsファイヤーボーイズによる熱い戦い。



強豪チームらしく、大人も息をのむ白熱プレーが連発！



最後は記念撮影！忘れられない体験になりました。

## ■中日新聞にて、載録を掲載。当日の様子とともにポッカサッポロからのメッセージも発信しました。

## ポッカサッポロは「野球少年」を応援

このプロジェクトは、新型コロナウイルスの影響でできなかったことなどを応援しようというもので、9月に募集した中からポッカサッポロが選んだのは、数々の大会が中止になり、学童野球最終学年となる6年生が習得の成果を発揮する場を設けたいという「六田ファイターズ」からの投稿でした。一度は夏にバロマ球場野球場での実施を決めましたが、感染が拡大していたため中止に。9月26日に感染防止に細心の注意を払い、ナゴヤドームで試合を行いました。

できなかったことをやろうプロジェクト実施報告  
野球少年の思い出となる試合をナゴヤドームで行いました！

pokka Sapporo

## 憧れの場所、ナゴヤドームが一日限りの夢舞台上

試合開始を告げる球審の「プレイボール！」の声が、広いナゴヤドームに響きます。春先から一時的に練習もできなかった学童野球チーム所属の小学6年生にとって、夢のような舞台での試合が始まりました。投稿した六田ファイターズと対戦相手となったファイヤーボーイズ、ともに強豪チームらしい大人も息をのむ白熱した展開に。ファイヤーボーイズが連打で1点を先制。終盤で六田ファイターズが2点を上げ逆転するも、すぐさまファイヤーボーイズが1点を追加し、2対2のまま制限時間を迎え引き分け。勝敗を決める抽選の結果、ファイヤーボーイズの勝ちとなりました。試合を終えた選手は充実した表情を浮かべ、最後は両チームが笑顔で記念写真に収まりました。



毎年開催してきた中日少年野球大会・ポッカサッポロ杯は、今年開催予定の第64回が中止となり、非常に残念に思っていました。この度は、子どもたちの思い出作りの場を設けたい、皆さんに感謝しています。ナゴヤドームで野球ができたことを自慢して、次のステージで活躍してもらいたいです。ポッカサッポロ 名古屋戦略部 三上さん

企画・制作/中日新聞広告局 協力/ナゴヤドーム

憧れのナゴヤドームで  
試合を行いました！

バックの守備陣も盛り立て、試合は両チームの先発投手が好投。どの選手も受けることなくハツツツとプレーした

両チームへ記念品が  
贈られました！

ポッカサッポロから両チームに記念の盾と、副賞の「キレートレモンCウォーター」20ケースが贈られた

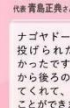
キレートレモンCウォーターで  
試合中もしっかり水分が補給！

ポッカサッポロ提供の「キレートレモンCウォーター」。飲みやすいレモン味で、熱中症対策として試合中の選手の喉を潤した

## 両チームの声



数々のチームが試合を行えない中、代表して実施できたことに感謝と感激の気持ちです。選手はいつも以上に元気で、良いプレーがたくさん見せてくれました。



ナゴヤドームのマウンドで投げられたことがうれしかったです。自分のヒットから後ろのバッターもついてくれて、チャンスを作ることができました。



試合で出したサインは遠慮しないで、守備も打撃も選手の自由にやらせてもらおうと任せました。春から中止した練習は6月から再開でき、成果を発揮できました。



いつも全力プレーで、勝つことがチームの目標。お互い声を掛け合って、最高の試合ができました。ナゴヤドームで野球ができたことはみんなの思い出です。



試合後は、両チームの選手全員が笑顔に

▲2020年10月30日付中日新聞朝刊